

**自分の命は、自分で守る!!**

## 百枝小学校防災教育自主公開発表

# 「下校時における災害時避難訓練」 「防災教育講演会」

2月12日金曜日、百枝小学校において、多くの保護者、地域のスクールガードの皆さんのご協力を得ながら登下校中の災害時避難訓練として「下校時における災害時避難訓練」が実施されました。

この訓練は、「児童の下校時に南海トラフ巨大地震が発生し、震度6の揺れが起きた」という想定の下、児童が自分で考え最善を尽くして危険回避の行動をとることや学校・地域・保護者が連携して地域ぐるみで児童の安全確保に最善を尽くす体制を構築することをめざして実施されました。

一斉下校中に防災無線の地震速報を聞いた児童は、体勢を低くして静かに放送を聞き、直近の避難場所（地区の集会所や公園）に向かって避難し、各避難場所で保護者・地域の方々と一緒に避難訓練の反省をして下校しました。

どの地区も、慌てず上級生がリードして落ち着いた避難行動がとれていました。日頃から、児童一人一人に「自分の命は自分で守る！」ことの重要性を意識させながら、一斉下校で通学路の安全点検をしたり、校区の安全マップを作ったり、防災教育や避難訓練を積み重ねてきたりしてきた成果が十分に発揮されていました。

また、避難訓練終了後、百枝小の保護者や地域の方々、各町のコミュニティスクールの関係者に対して、大分大学減災・復興デザイン教育研究センター防災コーディネーター板井幸則氏による「災害から児童を守る～安心・安全な学校をめざして～」というテーマで防災教育講演会が実施されました。



川辺方面での避難の様子



向野方面の避難場所での様子



大原方面の避難場所での様子